

Numpy vs. Sympyで学ぶ 高校数学ハンズオン（後編） 【数列，積分編】

進行予定

後編「数列，積分編」

- 数列の一般式，漸化式
- 数列の和
- 積分を定義から理解する
- 簡単な数値積分の方法
- 応用：確率と積分

講師自己紹介

- 氏名：大久保 亮介
- 現在，薬学部4年（漢方薬専攻）
- 担当講義：基礎統計→ML，高校数学など

- 数列の一般式, 漸化式

数列とは？

その名の通り「数が列になったもの」のこと

等差数列→差が等しい数列

例：1 3 5 7 9 … （差は2）

等比数列→比が等しい数列

例：3 9 27 81 243 … （比は3）

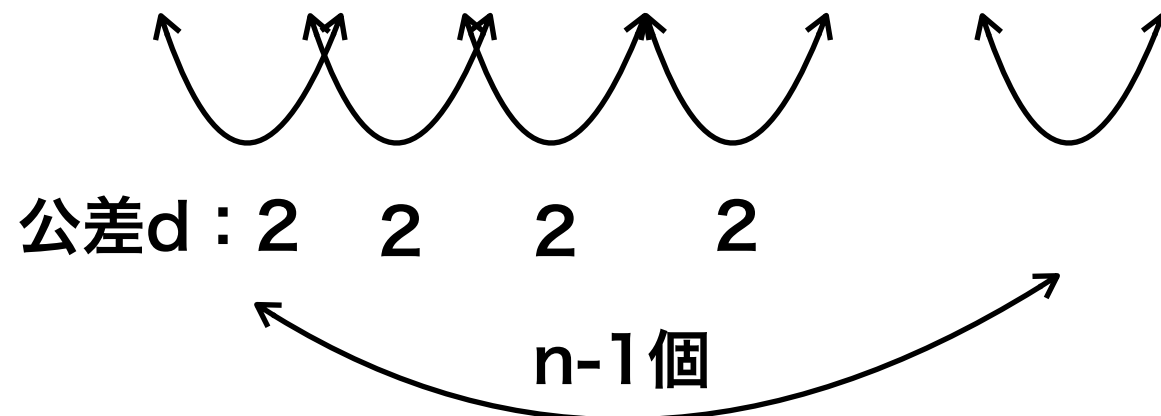
等差数列

等差数列→差が等しい数列

例：1 3 5 7 9 … （差は2）

項	初項 a_1	a_2	a_3	a_4	a_5	…	a_n
	1	3	5	7	9		

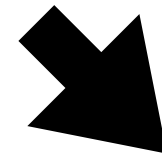
$$a_n = a_1 + (n - 1)d$$



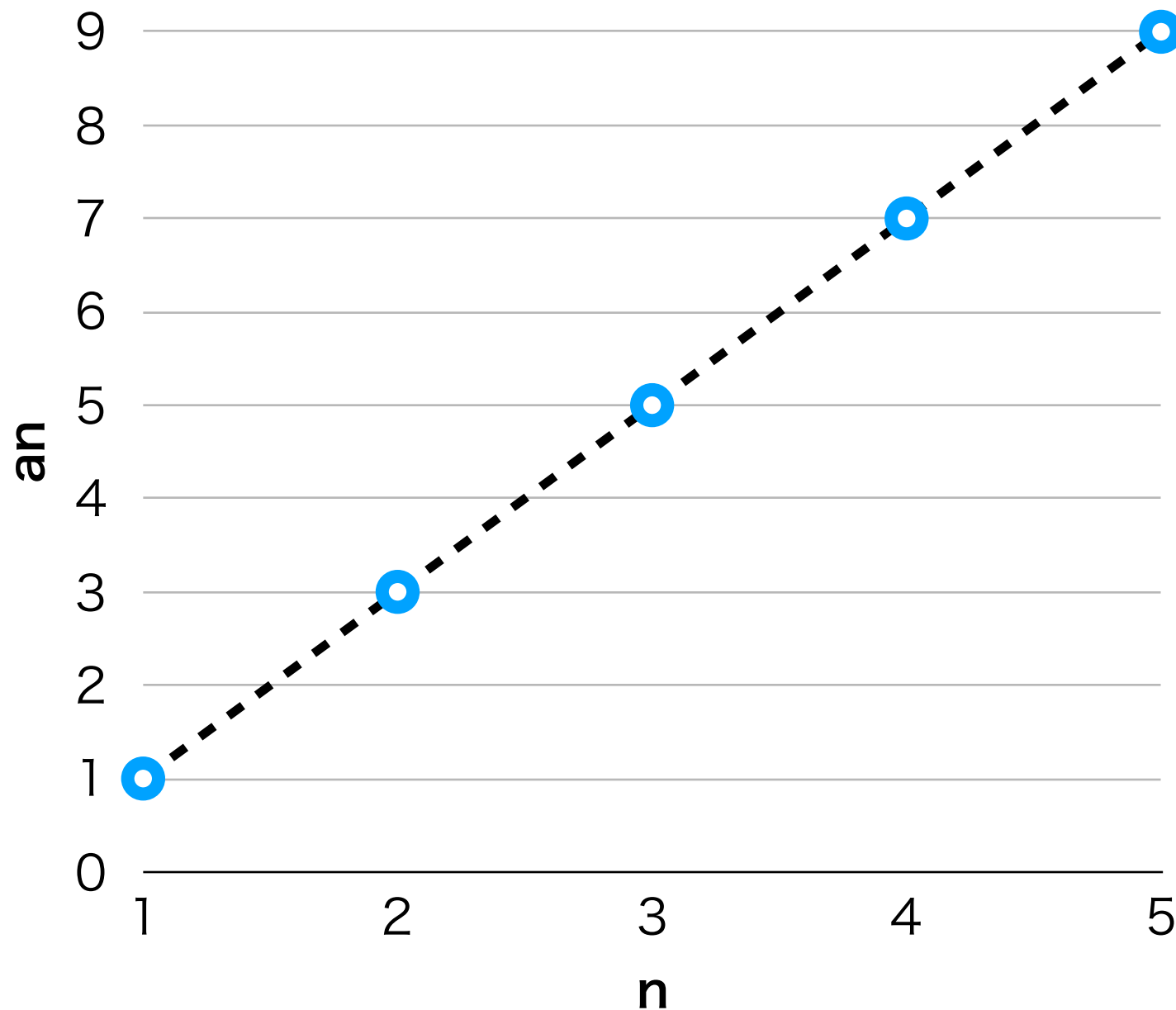
→初項1，公差2の
等差数列

等差数列の図形的意味

$$a_n = a_1 + (n - 1)d$$



$$a_n = dn + a_1 - d$$



→傾きが公差d,
切片が $a_1 - d$ の
直線

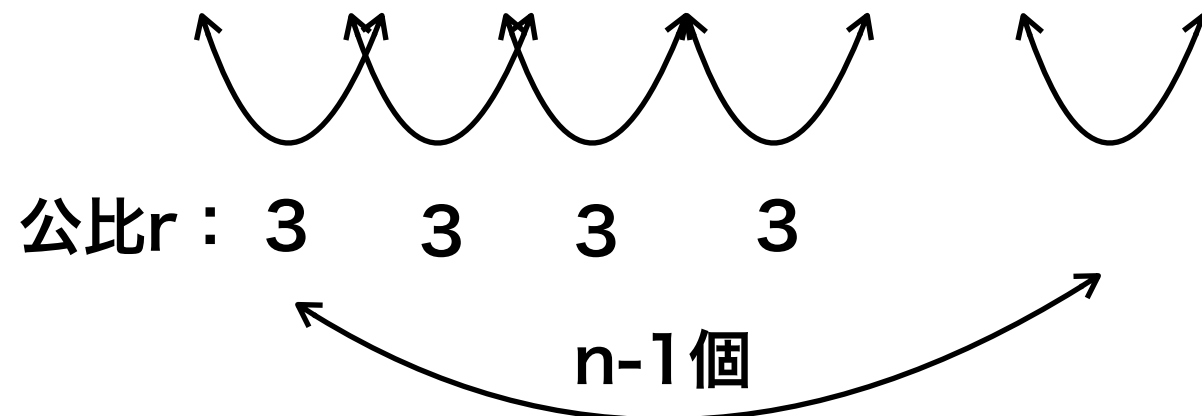
等比数列

等比数列→比が等しい数列

例：3 9 27 81 243 … （比は3）

項	初項 a_1	a_2	a_3	a_4	a_5	…	a_n
	3	9	27	81	243		

$$a_n = a_1 r^{n-1}$$



→初項3, 公比3の
等比数列

漸化式（差分方程式）

第 n 項と第 $n+1$ 項との関係を表す式

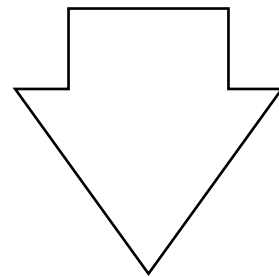
等差数列： $a_{n+1} - a_n = d$

等比数列： $a_{n+1} = r a_n$

- 数列の和

和の記号 Σ

“1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20”



20

$$\sum_{k=1} k$$

→ k に1～20まで順に自然数をいれ

それらを**全部足す**！

Σ の公式

1. 係数 n は Σ の外に出せる

$$\sum n a_k = n \sum a_k$$

2. 和は分割できる

$$\sum (a_k + b_k) = \sum a_k + \sum b_k$$

等差数列の和

例：1~100までの自然数の和

$$\begin{array}{r} S_n = 1 + 2 + \cdots + 99 + 100 \\ + S_n = 100 + 99 + \cdots + 2 + 1 \\ \hline 2S_n = 101 + 101 + \cdots + 101 + 101 \end{array}$$

$$\rightarrow 2S_n = 101 \times 100$$

$$S_n = \frac{1}{2}n(a + l)$$

$$S_n = 1/2 (101 \times 100) = 5050$$

等比数列の和

$$\begin{array}{rcl} S_n & = & a + ar + ar^2 + \cdots + ar^{n-1} \\ - \quad rS_n & = & ar + ar^2 + \cdots + ar^{n-1} + ar^n \\ \hline (1-r)S_n & = & a - ar^n \end{array}$$

$$\rightarrow (1-r)S_n = a - ar^n$$

$$S_n = \frac{a(1 - r^n)}{1 - r}$$

- 積分を定義から理解する

積分の記号

インテグラル

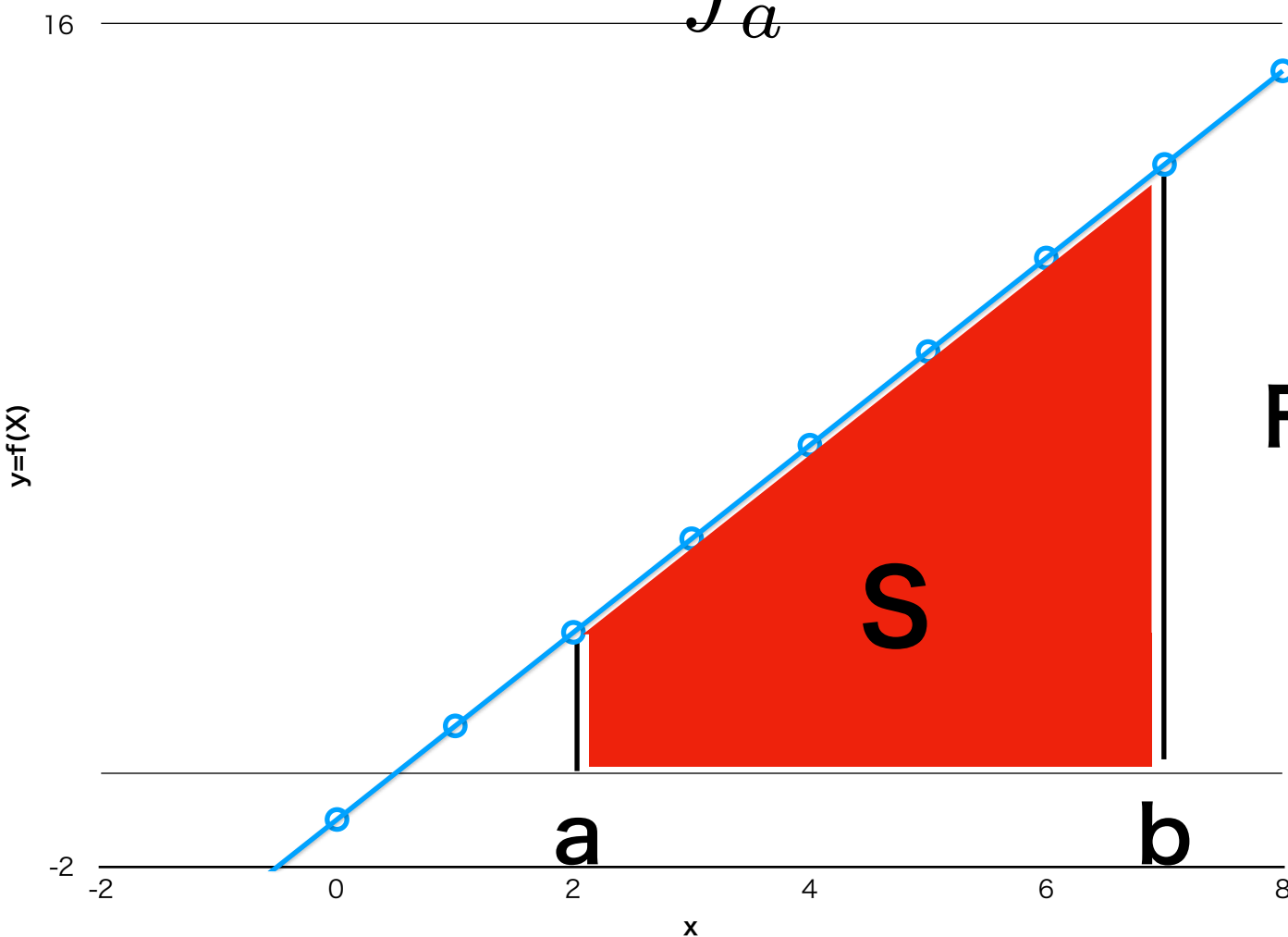
$$\int f(x) dx$$

関数 $f(x)$ を x で積分する

定積分

関数 $f(x)$, $x = a$, $x = b$ と x 軸で囲まれた部分の面積

$$\int_a^b f(x) dx = F(a) - F(b)$$

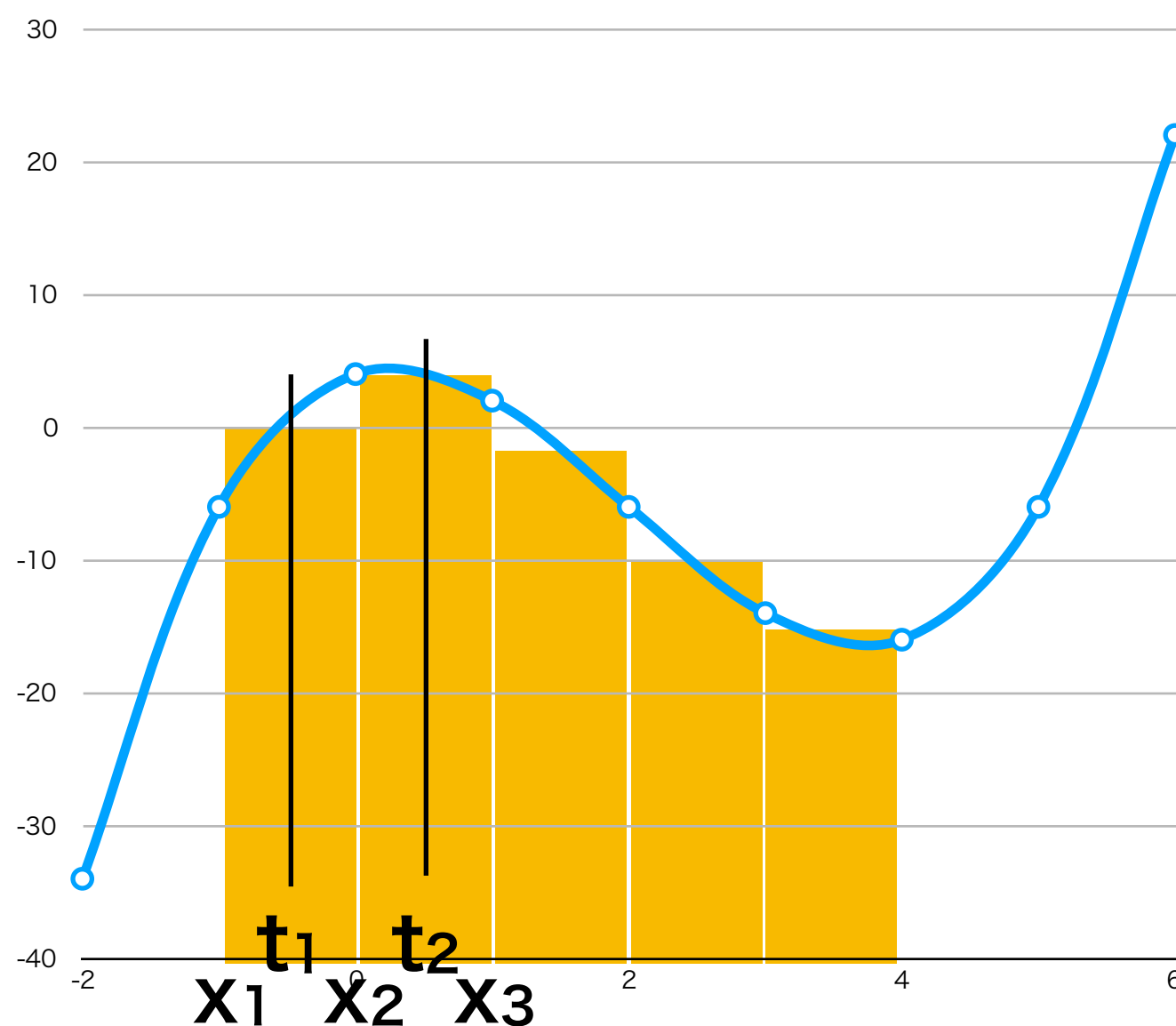


$$\int_2^7 2x - 1 \quad F(x) = x^2 - x$$

$$F(7) - F(2) = (49 - 7) - (4 - 2) = 40$$

リーマン積分の定義

$$\int_a^b f(x) dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n f(t_i)(x_{i+1} - x_i)$$



$f(t_i)$

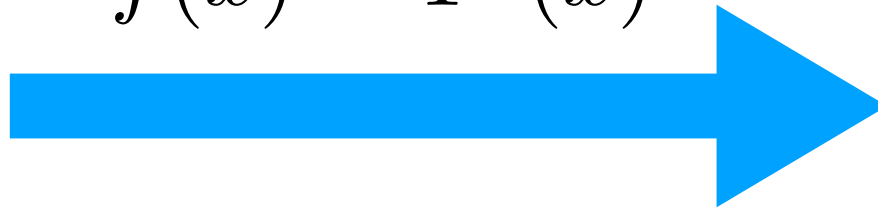
$x_{i+1} - x_i$

→定積分とは、
面積である

一般的に積分とは？

微分の逆

$$f(x) = F'(x)$$



原始関数 $F(x)$

$$F(x) = x^2$$

関数 $f(x)$

$$f(x) = 2x$$



$$F(x) = \int f(x) dx$$

不定積分

微分したら $f(x)$ になる関数

$$f(x) = \int 6x \, dx$$

微分して $6x$

→ $3x^2$ $3x^2+5$ $3x^2-8$ など

$$= 3x^2 + C \quad C \text{は積分定数}$$

積分の公式

$$\int x^n dx = \frac{1}{n+1} x^{n+1} + C$$

例： $f(x) = x^2$ の積分は、 $(1/3)x^3 + C$

Cは積分定数

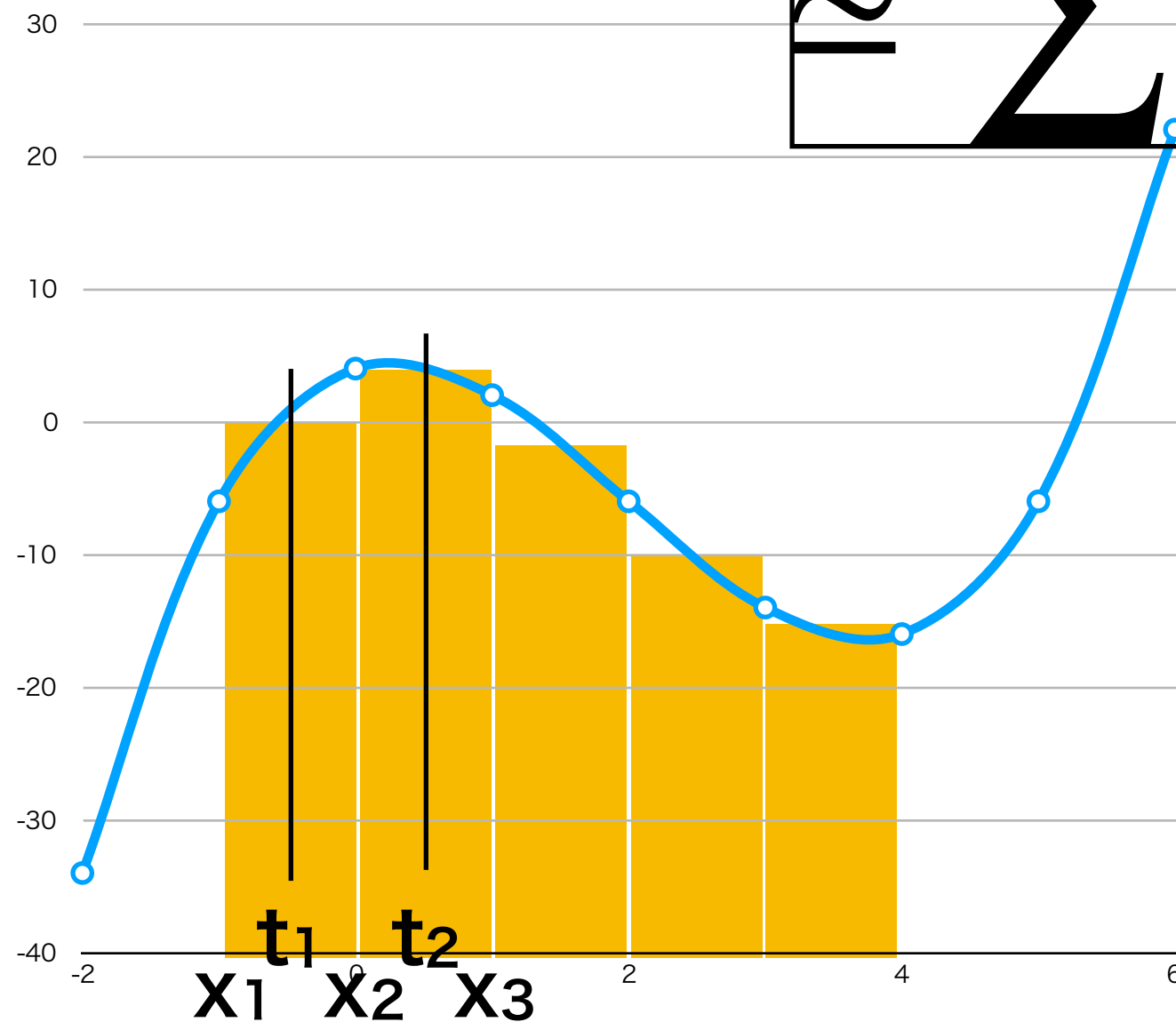
その他の公式：
<http://examist.jp/mathematics/math-3/integration/sekibunousiki/>

- 簡単な数値積分の方法

リーマン積分の実装

$$\int_a^b f(x)dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n f(t_i)(x_{i+1} - x_i)$$

$$\approx \sum f(t_i)(x_{i+1} - x_i)$$

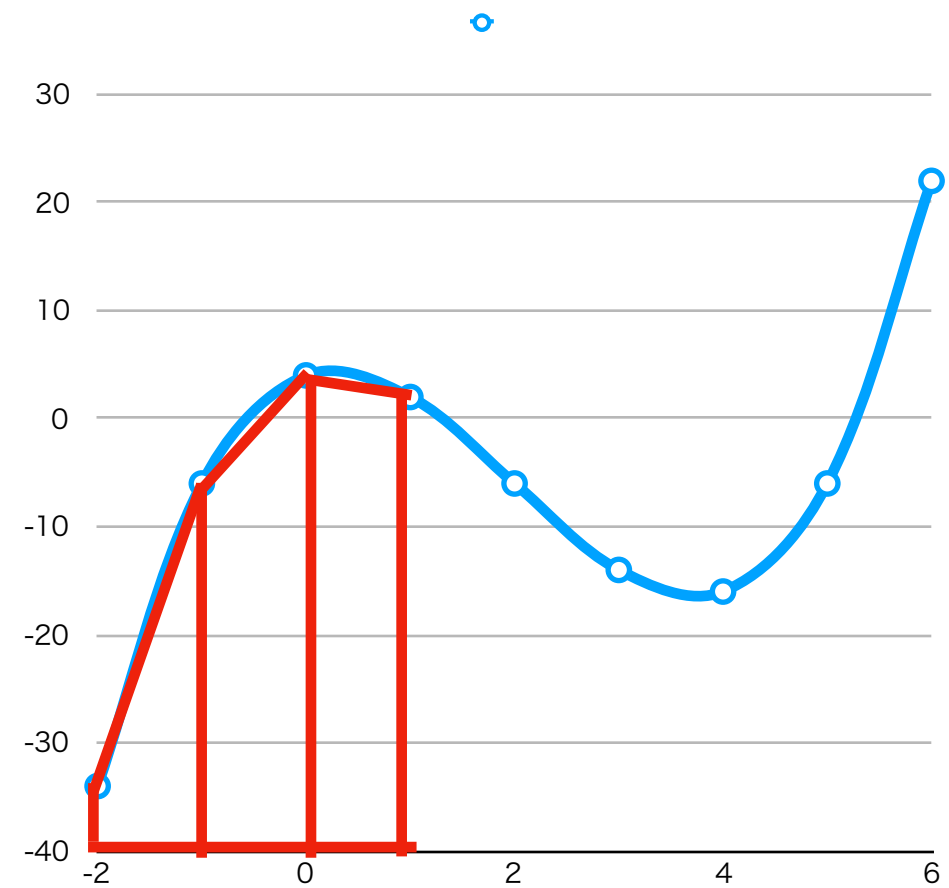
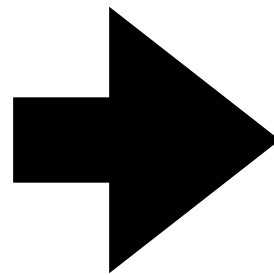
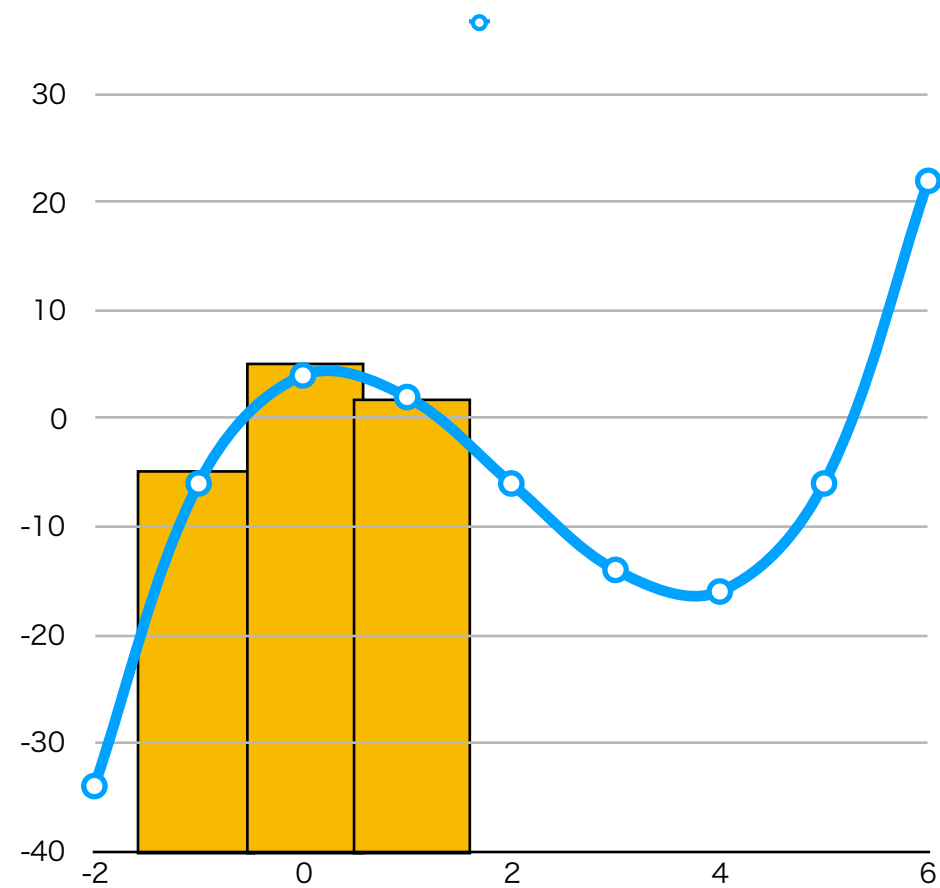


for文による繰り返し演算
+ 要素の総和

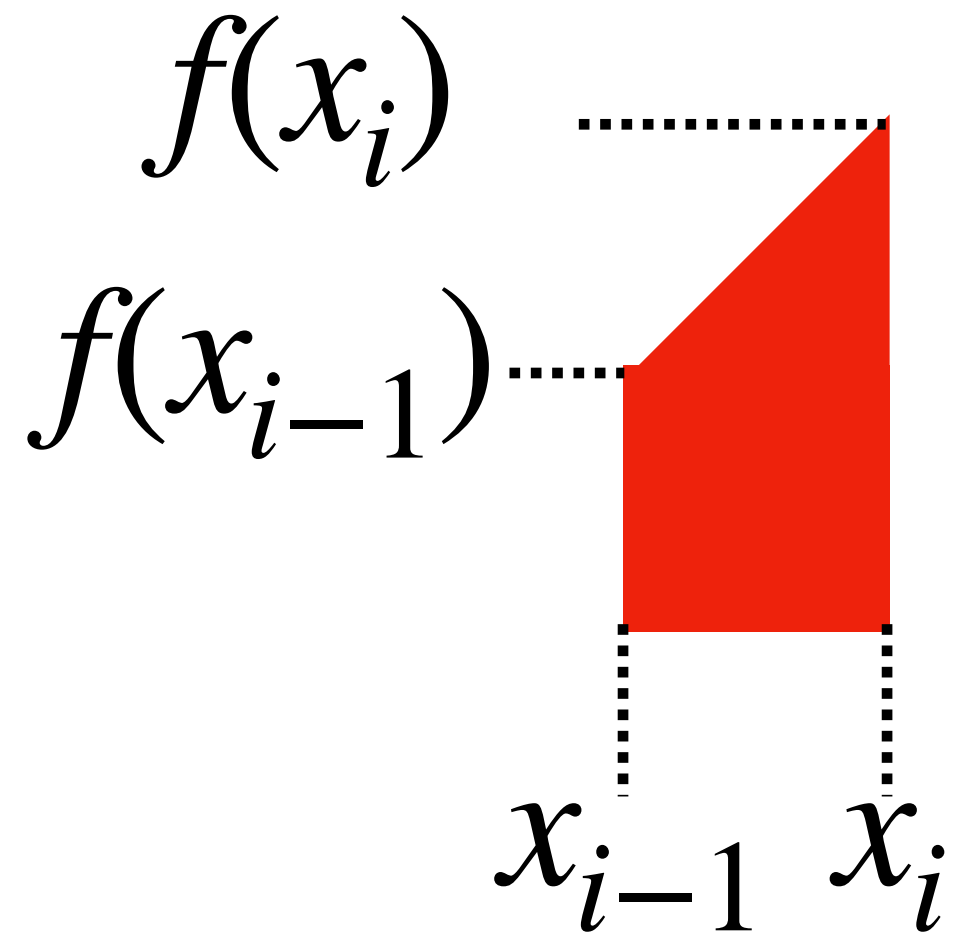
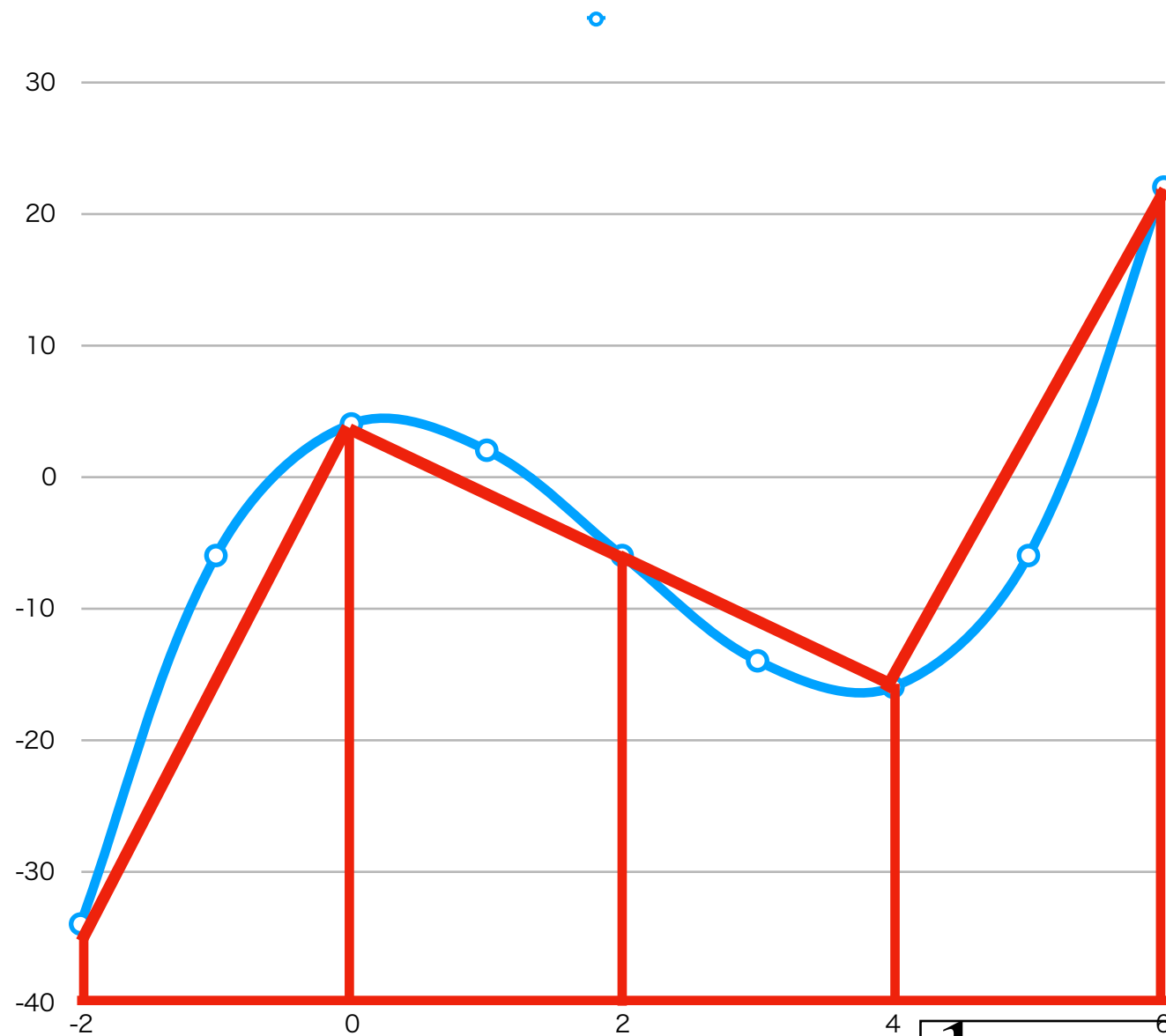
$f(t_i)$

$x_{i+1} - x_i$

リーマン積分から台形法へ



台形法の考え方



$$\frac{1}{2} \sum (f(x_{i-1}) + f(x_i))(x_i - x_{i-1})$$

- 確率と積分

<https://ryosuke-okubo.hatenablog.com/entry/2019/02/25/210000>